

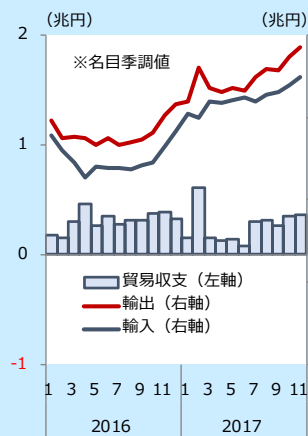
日本：貿易統計（2017年11月）

— 堅調な世界経済を背景に輸出は好調を維持 —

MRI Daily Economic Points

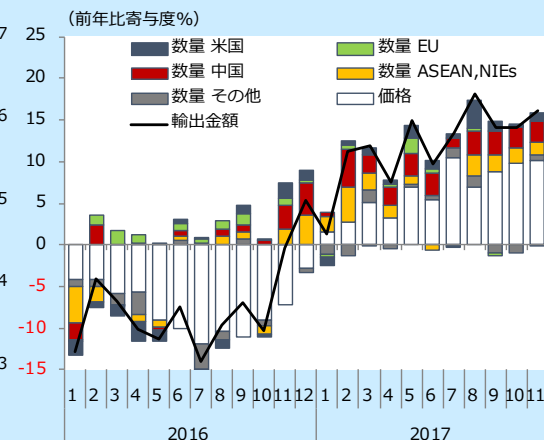
December 18, 2017

貿易収支



出所：財務省「貿易統計」より三菱総合研究所作成

輸出額の寄与度分解



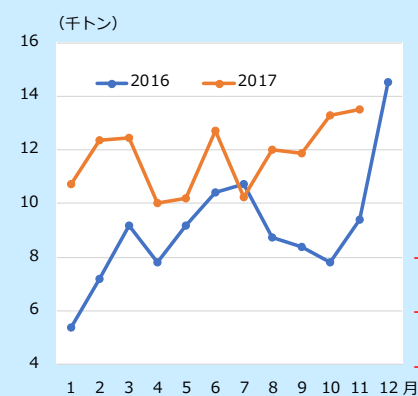
評価ポイント

2017年11月の結果

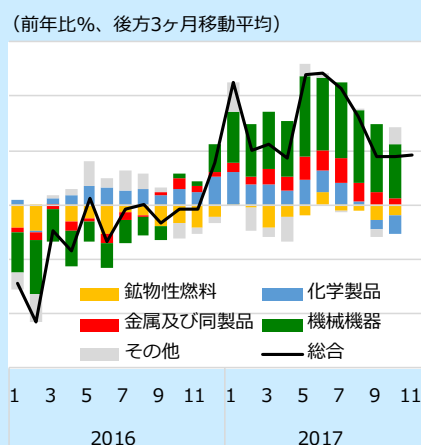
- 17年11月の貿易統計は、輸出金額が前年比+16.2%と12ヶ月連続で増加。輸入金額も同+17.2%となり11ヶ月連続で増加となった。貿易収支の季調値は+3,641億円と前月比+4.2%増加し、25ヶ月連続で黒字。
- 円安による輸出価格上昇の影響を除いた輸出数量の伸びは、前年比+5.5%と10ヶ月連続でプラス。国別の寄与度を見ると、中国、ASEAN等アジア向け輸出の貢献が大きい。
- アジア向け半導体等製造装置の輸出数量は高い伸びを継続しているが（前年比+43.5%）、国別に見ると韓国向けが同▲4.6%と今年初のマイナスとなった。また、16年12月の輸出数量が高水準だったことから、来月の伸びは低下する可能性が高い。
- 同じく輸出を牽引してきた米国向け自動車の輸出数量は、前年比▲2.7%と2ヶ月連続のマイナスとなった。しかし輸出台数は月間約17.6万台と高水準であり、引き続き好調を維持している。
- 輸入数量は前年比+2.6%と前月（同+3.2%）に引き続き増加した。通信機（電話機）の輸入数量が同+35.3%と大幅に伸びており、中国やASEANからのスマートフォン輸入が増加している。

アジア向け半導体等製造装置輸出

品目別の輸入数量



出所：財務省「貿易統計」より三菱総合研究所作成



基調判断と今後の流れ

- 輸出は、堅調な世界経済を背景に、好調を維持している。
- 先行きの輸出は、引き続き緩やかな回復を持続すると見込む。ただし、17年は全体として輸出が高い伸び率で推移してきたことから、18年にかけて伸び率は鈍化していく可能性がある。また、半導体関連の生産にやや一服感もあり、今後、半導体市場における需給調整に注意する必要がある。